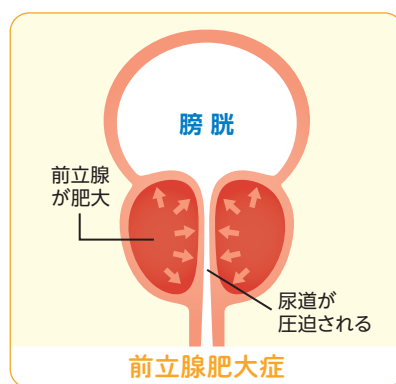
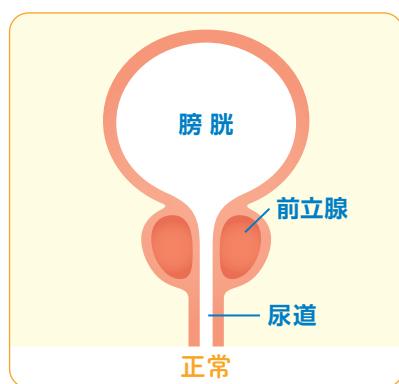


前立腺肥大症

早わかり

前立腺肥大症とは？

前立腺は膀胱の出口で尿道を取り囲む臓器で、精液の一部を作ります。前立腺が肥大すると尿道を圧迫して、尿の通過障害をきたし、排尿症状を引き起こすとともに、頻尿、夜間頻尿、尿漏れなどの蓄尿症状、残尿感などの排尿後症状も起こします。前立腺肥大症は加齢とともに有病率が増加し、70歳代では10人に1人以上が前立腺肥大症と診断されます。



こんな症状ありませんか？

次のような症状がある場合、前立腺肥大症の疑いがあります。

尿が出にくい(排尿症状)

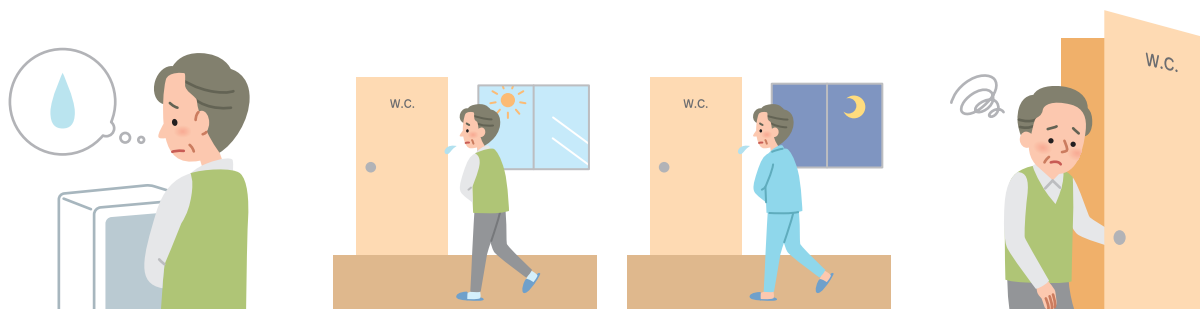
- ・尿の勢いが弱い
- ・尿をするのにお腹に力を入れる

トイレが近い(蓄尿症状)

- ・昼間・夜間にトイレが近い
- ・尿を我慢できない

残尿感がある(排尿後症状)

- ・尿が残っている感じがする



前立腺肥大症が悪化すると、尿閉、血尿、尿路感染症、膀胱結石、腎不全などを引き起こします。気になる症状がある場合は、医師にご相談ください。

検査と診断

まずは問診を行い、必要に応じて、血液検査、尿検査、直腸診、尿流測定、残尿測定、超音波検査などを行います。

治療

症状の重症度や状態・年齢などを考慮して、最適な治療方法を選択します。
主に、次のような治療法があります。

薬物療法

症状がそれほど重くない場合、手術が難しい場合などは、お薬による治療が中心になります。

分類	効果	主な副作用
α_1 遮断薬	前立腺や尿道の α_1 受容体をブロックすることにより、前立腺や尿道の筋肉をリラックスさせ、尿道を広げ排尿状態を改善します。	めまい、疲労感、射精障害、鼻づまり、頭痛、眠気 など
ホスホジエステラーゼ5 (PDE5)阻害薬	PDE5を阻害し、前立腺や尿道にある血管を広げて血流を増加させ、排尿障害の症状を改善します。	血圧低下、消化不良、ほてり、逆流性食道炎、頭痛 など
5 α 還元酵素阻害薬	前立腺の肥大をおさえ、縮小させます。	ED(勃起不全)、射精障害、性欲低下、女性化乳房 など

手術療法

症状が強い場合、お薬の効果が不十分な場合などは、肥大した前立腺を手術で取り除きます。
根治的な治療なので症状の改善が期待できますが、入院が必要になります。

日常生活で注意すること

- ✓ アルコールの飲みすぎは避けましょう
- ✓ 適度に水分補給をしましょう※
※過度な水分補給は控えましょう
- ✓ おしっこを我慢することは避けましょう
- ✓ 体(特に下半身)を冷やさないようにしましょう
- ✓ 長時間同じ姿勢を続けることは避けましょう
- ✓ バランスの良い食事を心がけましょう
- ✓ 適度な運動をしましょう



疑問や気になることがあるときは、
医師や薬剤師に相談してみましょう。